

笠岡のアクア美保 子ども食堂に20万円寄付

SDGs活動の二環で地域貢献

下水道処理施設管理などの
 ㈱アクア美保（笠岡市入江三
 八二―一、中村美保子会長）
 は4月24日、福祉関連事業を
 手掛けるNPO法人「笠岡を
 元気にする会」（同市四番町
 三二〇、柚木義和理事長）
 が実施している子ども食堂の
 ために二〇万円を寄付した。



同会は旅館を改装したJRR
 笠岡駅前の生活介護事業所
 「三洋」（同市中央町二〇―
 四）を会場に3月、子供と保
 護者を対象とする子ども食堂
 「おかげ食堂」を開始。これ
 を知った同社が寄付を申し出



た。

子ども食堂の料理は、元食
 堂経営者で三洋の厨房を担当
 する小川浩司さんが腕により
 をかけて作る。当日はカレー
 やスパゲティ、揚げギョーザ
 や肉だんご、きなこ餅など豪
 華なメニューが並ぶ中、同社
 の中村康徳社長が小川さんに
 目録を渡した。写真上、左が
 中村社長。

「当社グループの従業員は
 計一〇〇人を超えた。地域福
 祉への寄付を通じて、育てて
 いただいた笠岡に恩返しをし
 たい」とあいさつした中村社

長に、小川さんは「食材の購
 入に使わせていただき、おい
 しい物を食べさせてあげた
 い」と感謝した。

この日は約三〇人が訪れた
 写真下。市内の幼稚園年長
 女児は「カレーがおいしい。
 また来たい」と笑顔。中村社
 長は「当社はSDGs活動に
 取り組んでおり、寄付もその
 一環。子供たちがおなかいっ

ぱい食べる手助けになれば」
 と話しながら見守った。

おかげ食堂は今後、第三土
 曜の17時から開く。子供は無
 料、連れの大人は一人三〇〇
 円で予約不要。「所得などに関
 係なく、子供なら誰でもOK
 です。交流が生まれる場にし
 たい」と柚木理事長。

問 同会 ☎ 0865・63
 ・0911

徳永製菓5月の新商品

本格的なハーブナッツ 仏産素材で大人の味に

豆菓子製造・販売の徳永製
 菓（福山市胡町四二―一、
 上迫豊社長）は、5月の新商
 品「プロヴァンスハーブミッ
 クスナッツ」写真Ⅱの販売
 を同社直営の豆徳本店など
 で始めた。

南仏プロバンス地方で使わ
 れる五種類のハーブと、同国
 プルターニュ地方で生産され
 る天然塩のグラウンド塩でナツ
 ツを味付けした。「ハーブが
 香る、ちよつとぜいたくな大
 人の味わいに仕上げた」と同
 社。八〇㊦入りで四三㊦。

同社は1869年創業。伝
 統的な豆菓子を中心に製造・

販売している。近年
 はフルーツ味の豆や
 ナッツ菓子を製造す
 るほか、素材をコー
 ティングする技術を

活用し、従来の枠にとらわれ
 ないさまざまな商品を展開し
 ている。「季節の品や、ちょ
 つとしたプレゼントにぴった
 りな物もそろえています」

問 豆徳本店 ☎ 084・9
 22・2710

